2015年度 韓国国際交流財団 「韓国研究大学院給付奨学生」

申　　　請　　　書

平成　　年　　月　　日

私は下記の通り，2015年度 韓国国際交流財団「韓国研究大学院給付奨学生」に申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| １．（フリガナ）  氏名 | （　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| ２．生年月日 |  |
| ３．国籍 |  |
| ４．所属 (4月現在） | 在籍研究科：  専攻等：  年次： |
| ５．2015年度における  研究計画テーマ |  |
| ６．韓国語能力を示す語学試験等 （※） | 試験名称：  スコア：  ※語学試験成績証明書（写）を別途添付のこと |
| 7．連絡先 | Email :  TEL :  住所 : 〒 |
| 8. 申請中の他の奨学金（本学授業料免除含む） | ●他の奨学金　（奨学金財団・奨学金名）：  ●東京大学授業料免除申請状況：  前期　　　・　　　後期　　　・　　　前期と後期　　　・　　　申請していない  　※該当する箇所に○をしてください。 |

※**「ハングル」能力検定試験，韓国語能力試験，世界韓国語認証試験（KLPT）**等

試験成績証明書の写しを添付のこと

2015年度 韓国国際交流財団 「韓国研究大学院給付奨学生」

誓　　約　　書

平成　　年　　月　　日

　東京大学

国際本部長　殿

　　　　氏名　　　　　　　　　　　　印または自署

　私は下記の通り，2015年度 韓国国際交流財団 「韓国研究大学院給付奨学生」への申請にあたり，以下の事項を厳守することを、ここにお誓いいたします。

1. 東京大学を通して，給付奨学金を受け取る。
2. 給付奨学金が給付される学年度の間，継続して東京大学に所属し，学業に専念する。
3. 募集要項にある受給資格を失った場合または辞退する場合、速やかに大学へ報告したうえ奨学金を返還する。
4. 学年度終了後，１カ月以内に韓国国際交流財団のガイドラインに従って，最終報告書を提出する。
5. 学位取得後は，修士論文または博士論文の全文もしくは概要を韓国国際交流財団に提出する。
6. 給付期間終了後，東京大学卒業後を含め，研究成果や主要活動事項，学会進出状況などについて，韓国国際交流財団からの要請に従い，随時報告する。

以上

2015年度 韓国国際交流財団 「韓国研究大学院給付奨学生」

申　　請　　理　　由　　書

平成　　年　　月　　日

氏名

* **日本語で，タイピング入力のこと。1頁。**